

出雲市全体 業種別景況（令和2年4月～令和2年6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	10.2	15.3	74.4	△ 64.2	12.1	10.9	77.0	△ 64.9	20.1	33.3	46.6	△ 26.4
2 採算（経常利益）	9.1	25.1	65.7	△ 56.6	10.4	23.7	65.9	△ 55.5	14.4	40.8	44.8	△ 30.5
3 資金繰り	7.5	50.3	42.2	△ 34.7	8.7	45.3	45.9	△ 37.2	10.5	61.6	27.9	△ 17.4
4 従業員（含 臨時・パート）	10.1	73.8	16.1	△ 6.0	13.6	66.9	19.5	△ 5.9	4.7	88.8	6.5	△ 1.8
5 商品（製品）在庫	9.6	66.9	23.6	△ 14.0	7.6	63.7	28.7	△ 21.0	7.1	74.8	18.1	△ 11.0
6 業況（自社）	6.9	27.6	65.5	△ 58.6	7.5	27.0	65.5	△ 58.0	11.0	47.7	41.3	△ 30.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							実施・計画 していない
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	34.5	4.5	13.4	34.3	22.4	6.0	19.4	0.0	65.5
2 来 期	30.6	1.8	10.7	30.4	28.6	10.7	14.3	3.6	69.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	70.8	10.4	3.6	9 金利負担の増加	0.0	3.0	2.7
2 新規参入業者の増加	0.6	1.5	0.0	10 代金回収の悪化	0.6	1.5	4.5
3 単価の低下・上昇難	2.5	19.3	4.5	11 事業資金の借入難	1.2	1.5	1.8
4 材料（原材料）等の入手難	2.5	3.0	1.8	12 従業員の確保難	7.5	9.6	12.6
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	0.0	8.1	9.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.0	14.8	23.4
6 人件費の増加	2.5	11.9	9.9	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.9	3.7	6.3
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.6	6.7	8.1	15 その他	4.3	0.0	6.3
8 商品（製品）在庫の過剰	0.0	5.2	5.4				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	4.0	32.0	64.0	△ 60.0	8.0	36.0	56.0	△ 48.0	12.0	52.0	36.0	△ 24.0
2 採算(経常利益)	8.0	44.0	48.0	△ 40.0	4.0	60.0	36.0	△ 32.0	12.0	48.0	40.0	△ 28.0
3 資金繰り	0.0	88.0	12.0	△ 12.0	4.0	80.0	16.0	△ 12.0	0.0	76.0	24.0	△ 24.0
4 従業員(含臨時・パート)	20.0	64.0	16.0	4.0	24.0	56.0	20.0	4.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 商品(製品)在庫	5.6	94.4	0.0	5.6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
6 業況(自社)	4.0	52.0	44.0	△ 40.0	4.0	60.0	36.0	△ 32.0	0.0	64.0	36.0	△ 36.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	45.2	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3	42.9	0.0	54.8
2 来 期	44.4	0.0	16.7	8.3	25.0	8.3	41.7	0.0	55.6

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	65.2	16.7	0.0	9 金利負担の増加	0.0	5.6	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	5.6	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.3	16.7	5.9	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.3	0.0	0.0	12 従業員の確保難	17.4	11.1	35.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	0.0	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	5.6	11.8
6 人件費の増加	4.3	27.8	23.5	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	5.6	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.3	5.6	17.6	15 その他	0.0	0.0	5.9
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナによる、売上への影響
- ・コロナによる、工事受注の減少
- ・コロナで3月前半に2週間強制的に現場を休工とされたが、その後は何もなく特段の影響はなかった。
- ・コロナの影響が少しずつ現れている。同業者の中には工事発注の延期やキャンセルが出ている。工事単価は低いまま。

《製造業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	14.3	5.7	80.0	△ 65.7	17.1	5.7	77.1	△ 60.0	11.4	37.1	51.4	△ 40.0
2 採算(経常利益)	14.3	20.0	65.7	△ 51.4	11.4	17.1	71.4	△ 60.0	5.7	42.9	51.4	△ 45.7
3 資金繰り	14.7	41.2	44.1	△ 29.4	11.8	41.2	47.1	△ 35.3	14.7	58.8	26.5	△ 11.8
4 従業員(含臨時・パート)	11.4	80.0	8.6	2.9	17.1	65.7	17.1	0.0	5.7	91.4	2.9	2.9
5 商品(製品)在庫	25.7	62.9	11.4	14.3	20.0	60.0	20.0	0.0	17.1	71.4	11.4	5.7
6 業況(自社)	5.7	20.0	74.3	△ 68.6	5.7	20.0	74.3	△ 68.6	8.6	48.6	42.9	△ 34.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今期	50.0	0.0	9.1	45.5	22.7	9.1	13.6	0.0	50.0
2 来期	41.0	0.0	12.5	43.8	18.8	6.3	12.5	6.3	59.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	80.0	3.4	0.0	9 金利負担の増加	0.0	3.4	4.5
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	10.3	4.5	11 事業資金の借入難	2.9	0.0	4.5
4 材料(原材料)等の入手難	2.9	3.4	4.5	12 従業員の確保難	0.0	6.9	9.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	20.7	9.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	11.4	20.7	27.3
6 人件費の増加	2.9	17.2	9.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	3.4	13.6	15 その他	0.0	0.0	4.5
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	10.3	9.1				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響による、車載メーカーの操業停止及び消費者の車買い控えで受注減。
- ・コロナの影響による、需要の減少。先行き不透明。
- ・売上が4・5月前年比半分以下、6月に入り前年比70%弱まで戻る。
- ・弁当・オードブル等の別注がほぼなくなった。
- ・受注が大幅に減少しているため、雇用助成金等を活用して凌いでいる。
- ・4・5月と観光客がなく店を開けることができなかつたため、売上が大きく下がった。首都圏の駅中の店や商業ビルは大きく売上が下がったが、郊外店は売上は良かった。ネット販売も好調だった。
- ・スーパー関係の売上は好調なのに対して、地方発送品、来店客の減少による現金売上が低調となった。
- ・コロナのため、先行き不透明。
- ・地元大手の下請けが多く、コロナ等の社会的な問題に左右されやすく、注文が入ってもすぐにストップがかかったり、中止になったりなど安定的ではない。今後の運営の仕方を考えなければならない。
- ・コロナでなんとなく営業がやりにくくなった。
- ・コロナによる自動車業界の不況の影響で、関連会社の受注が減少している。4月以降、売上が少なくなっているなか、6月に入り省力化を望んでいる企業から自動機械の注文をいただいている。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	17.6	11.8	70.6	△ 52.9	12.5	18.8	68.8	△ 56.3	23.5	29.4	47.1	△ 23.5
2 採算(経常利益)	5.9	35.3	58.8	△ 52.9	5.9	29.4	64.7	△ 58.8	23.5	47.1	29.4	△ 5.9
3 資金繰り	0.0	58.8	41.2	△ 41.2	0.0	52.9	47.1	△ 47.1	23.5	58.8	17.6	5.9
4 従業員(含臨時・パート)	12.5	75.0	12.5	0.0	18.8	62.5	18.8	0.0	6.3	87.5	6.3	0.0
5 商品(製品)在庫	6.3	62.5	31.3	△ 25.0	5.9	52.9	41.2	△ 35.3	6.3	68.8	25.0	△ 18.8
6 業況(自社)	0.0	43.8	56.3	△ 56.3	0.0	35.3	64.7	△ 64.7	31.3	37.5	31.3	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	38.9	14.3	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	61.1
2 来 期	17.6	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	82.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	86.7	0.0	0.0	9 金利負担の増加	0.0	6.7	8.3
2 新規参入業者の増加	0.0	6.7	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	6.7	25.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	20.0	8.3	11 事業資金の借入難	0.0	6.7	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	6.7	6.7	0.0	12 従業員の確保難	6.7	6.7	8.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	6.7	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	13.3	16.7
6 人件費の増加	0.0	0.0	8.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	8.3
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	6.7	0.0	15 その他	0.0	0.0	16.7
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	13.3	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナの影響大きく、今後回復の見通しが当分厳しく他の業態への変換を検討中。
- ・マスク、防護服縫製好調、一般アパレル縫製不調。 ・観光関連4～6月は全く見込み立たず(前年比△90%以上)。6月末より人出がやや戻る。
- ・コロナで集合教育が行えず厳しい状況が続いている。 ・コロナのため、売上が減少し飲食店の閉店が増加しそう。
- ・コロナのため、コンテナでの入庫が不可能になる恐れがあり、可能な限り仕入れをする。そのため、支払いに追われる。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	10.6	21.3	68.1	△ 57.4	10.9	8.7	80.4	△ 69.6	19.6	26.1	54.3	△ 34.8
2 採算(経常利益)	12.8	29.8	57.4	△ 44.7	15.6	26.7	57.8	△ 42.2	10.9	34.8	54.3	△ 43.5
3 資金繰り	12.8	46.8	40.4	△ 27.7	17.4	43.5	39.1	△ 21.7	4.3	67.4	28.3	△ 23.9
4 従業員(含臨時・パート)	8.9	82.2	8.9	0.0	13.3	77.8	8.9	4.4	6.7	86.7	6.7	0.0
5 商品(製品)在庫	2.1	62.5	35.4	△ 33.3	2.1	57.4	40.4	△ 38.3	6.5	71.7	21.7	△ 15.2
6 業況(自社)	14.9	25.5	59.6	△ 44.7	13.0	28.3	58.7	△ 45.7	8.7	43.5	47.8	△ 39.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	31.4	6.3	18.8	31.3	18.8	0.0	25.0	0.0	68.6
2 来 期	27.1	7.7	7.7	30.8	38.5	15.4	0.0	0.0	72.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	62.8	20.5	3.1	9 金利負担の増加	0.0	2.6	3.1
2 新規参入業者の増加	2.3	2.6	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	6.3
3 単価の低下・上昇難	4.7	17.9	6.3	11 事業資金の借入難	2.3	0.0	3.1
4 材料(原材料)等の入手難	2.3	5.1	3.1	12 従業員の確保難	9.3	10.3	6.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	7.7	9.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	7.7	18.8
6 人件費の増加	2.3	5.1	9.4	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.7	10.3	9.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	5.1	6.3	15 その他	9.3	0.0	6.3
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	5.1	9.4				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナ需要あり。特にマスク、衛生用品が引き続き売上好調。依然として手袋の商品入荷が不安定。
- ・全体的に好調。7月よりキャッシュレス還元事業が終了したことによる落ち込みを不安視。
- ・4・5月はコロナの影響で売上減。6月には昨年並みに戻った。家飲み用商品や珈琲豆等は大幅売上アップ。パソコン利用のテレビ会議も行った。
- ・コロナにより経済状況が悪化し、新車需要が落ち込み売上の低下と利益確保が難しくなると思われる。
- ・商店街への集客力がゼロに近い。年会費の出る月とお得先があるから細々と生活できる。一見客（現金）はほとんどない。
- ・消費が自然減少。コロナ+消費税の影響。
- ・キャッシュレス決済好調。4・5月の売上は減少。
- ・外注減少。
- ・コロナの影響で、国・県等々が外出を控え通販等の利用を薦めたことで商店街への来客が激減し売上が減少。
- ・特別定額給付金により学生の高額なスポーツ用品の買い物が増えた反面、全てのスポーツ大会が中止になり運営に関わる売上がなくなった。
- ・ガソリンは6月末時点で、9割まで回復。
- ・空気清浄機好調、テレビ品物がなく不調。
- ・コロナの影響が思いのほか長引き、会合・旅行等すべて中止で外出用の服も需要がなく大変。商品も品数少なくしている。
1か月早くバーゲンをして少し成果はあった。
- ・コロナの影響がまだまだ長引きそう。預金を切り崩しながら耐えるしかなさそう。
- ・コロナの影響大。県外客なし。特に5月の連休。休校、休業のため固定客減。
- ・コロナの影響はあまりなかった。小売業なので、7月1日からプラスチック袋（レジ袋）等の有料化でお客様の反応や動向が気になる。
- ・コロナで3月中旬頃より観光客減少。4月に入り町内の料理店がコロナの影響で次々と臨時休業されたため売上大幅減。
- ・コロナの影響で4月に臨時休業（1週間）、ゴールデンウィークの売上減など、マイナス面もあったが、地元のお客様の客足はやや増加しているように思う。
- ・持続化給付金のお陰で支払いができました。
- ・営業不調。
- ・コロナの影響が大きい。生活様式も変わる。会社経営の見直しが急務。
- ・コロナのため、売上は過去最高の下げ幅を記録。
- ・進物用の売上が下がった。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前年同期(平成31年4月～令和元年6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	7.7	9.6	82.7	△ 75.0	11.5	1.9	86.5	△ 75.0	29.4	29.4	41.2	△ 11.8
2 採算(経常利益)	3.9	11.8	84.3	△ 80.4	9.8	5.9	84.3	△ 74.5	21.6	39.2	39.2	△ 17.6
3 資金繰り	4.0	38.0	58.0	△ 54.0	4.0	30.0	66.0	△ 62.0	14.0	52.0	34.0	△ 20.0
4 従業員(含臨時・パート)	4.3	66.0	29.8	△ 25.5	4.2	64.6	31.3	△ 27.1	4.2	83.3	12.5	△ 8.3
5 商品(製品)在庫	7.5	65.0	27.5	△ 20.0	7.5	62.5	30.0	△ 22.5	2.5	72.5	25.0	△ 22.5
6 業況(自社)	3.9	17.6	78.4	△ 74.5	7.8	11.8	80.4	△ 72.5	14.0	46.0	40.0	△ 26.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	16.0	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	84.0
2 来期	23.1	0.0	0.0	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3	76.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	68.9	5.9	10.7	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	2.2	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.2	29.4	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	2.9	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	6.7	11.8	10.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	2.9	17.9	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	8.9	23.5	35.7
6 人件費の増加	2.2	11.8	3.6	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.2	0.0	10.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	11.8	3.6	15 その他	6.7	0.0	3.6
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	3.6				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響で売上大幅減。
- ・コロナの影響で飲食店への足が遠のいているので先が見えない。
- ・コロナの影響は甚大で4～6月は昨年の8割減。借入金や助成金で何とか凌いでいる状態。外食産業全般に事業の方向性を転換していかなければ、まだまだ厳しさは続いていきそうな状況。
- ・売上減少。経営難。
- ・接客に対してお客様、スナック共に神経質になっている。
- ・固定客があっても将来のために、新規客は必要だが、コロナの為に新規客は予約時点で断ることが多い。市内の方は住所等を聞いて受ける。
- ・県外講習が全部中止になったので、ZOOM講習を受講しています。技術第一の職種です。
- ・コロナによる売上低下。
- ・新規客が増加。これまでネットを活用していなかった業種の利用者が増加。
- ・外食観光は減少、家族系はプラス。
- ・コロナの影響で撮影がキャンセルになった。昨年に比べて予約の入り方が悪い。
- ・売上が95%減少していた時期もビジネスホテルとして地域に貢献できるとの自負の思いから営業を続けてきましたが、採算は取れず損失が膨らみました。感染症対策を徹底し、いつでもお客様を迎え入れる平常心を保つよう社員の士気を鼓舞しています。
- ・毎年高校生の夏休みの短期アルバイト投入で現場を回していたが、コロナの関係で、アルバイトが私立、公立共、ほぼ全面禁止となり、採用難。長雨、豪雨で海水浴に向かわず、海の家が開店休業状態。
- ・4・5月の予約キャンセルによる先行き不安は大変なもの。感染拡大地域からの予約には恐ろしさと不安に駆られた。
- ・コロナの影響による客数の減少。
- ・最悪です。予約が入ってもイチかバチかで受けます。コロナで。
- ・お客様は徐々に戻ってきていますが、第2波を懸念して足どりは鈍いです。あと1年はこんな調子かと覚悟しています。新しい生活スタイルをうまく事業に取り入れたいです。
- ・コロナ禍により観光業は大打撃。
- ・コロナの影響で売上減少。